

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	22	課題区分	C	令和6年3月1日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進						
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	環境課	
事業名	諏訪湖の水草対策推進事業				電話	0266-57-2952(内線2541)	
					E-mail	suwachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	諏訪湖創生ビジョン(改定版)に基づき、ヒシと他の水生植物のバランスがとれた水草帯の形成を目指す。					
	現状と課題	ヒシは栄養塩類吸収による水質浄化や、野鳥のえさ場、魚類や水生昆虫の産卵場所となる等プラス面の影響がある一方、大量繁茂による沈水植物への生育障害、枯死による底質環境悪化、水流阻害による貧酸素化、船の航行障害、景観の悪化等マイナス面の影響がある。2028年度国民スポーツ大会開催に向けヒシ刈り等による諏訪湖の環境整備を求める声もある中で、ヒシの除去量増加に向けた新たな仕組みづくり等について検討、合意形成を図る必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	ヒシの除去量増加に向けた新たな仕組みづくりの検討、合意形成に当たっては、ヒシの特性等に関する基礎的な情報や、他自治体・過去の取組等についての情報を共有し、その上で議論する必要がある。そのため、ヒシに関する研究や取組を行っている専門家による学習会を実施し、それを踏まえてワーキンググループにおける議論を行う。 (1)ヒシの大量繁茂対策に関する学習会(開催日:令和6年1月22日) ヒシの特性や他湖沼における大量繁茂対策について、専門家による講義を開催する。 (2)ワーキンググループの開催(上記学習会終了後に同日開催) 上記の学習会でヒシに関する知識を高めたうえで、諏訪湖におけるヒシの大量繁茂に係る来年度以降の取組や新たな対策等について意見交換を行う。					
	事業期間	令和6年1月 ~ 令和6年2月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	ワーキンググループ・学習会	専門家への謝金	32,000	大学教授級 6,400円×5時間			
		専門家への旅費(鉄道)	11,080	田無～諏訪市(諏訪(甲)) (運賃3,300円+特急料金2,240円)×2			
		専門家への旅費(日当)	2,200	3級以上6級以下			
	合計	45,280					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	学習会参加者数		30名	37名	● 達成		
	学習会参加者の理解度・満足度(1～5点の5段階評価)		3.5点以上	4.7	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	令和6年1月22日に東京大学大学院農学生命科学研究科 生圏システム学専攻 保全生態学研究室の吉田丈人教授を講師に招き、学習会を開催した。学習会の満足度は非常に高く、参加者からも好評であり、ヒシをはじめとした諏訪湖の水草に対する理解が深まった。 また、学習会終了後、第1回ワーキンググループを開催し、沖野会長から諏訪湖の概要についての講義、水大気環境課、諏訪建設事務所整備課、諏訪地域振興局環境課からこれまでの取組事例の紹介後、6つのグループに分かれて課題や解決策についてワークショップ形式で検討を行った。学習会で学んだことを踏まえた議論が活発に行われ、今後の合意形成に向けた意見を集約することができた。						
	今後の方向性	引き続きワーキンググループにより検討を行い、合意形成を図る。令和6年度は、ヒシ除去実施主体による具体的な取組に係る検討を行う。					